

溶融亜鉛アルミニウム合金めっき「タナカ-AZ」製品

JIS H 8643に対応する溶融亜鉛アルミニウム合金めっきの「タナカ-AZ」は、溶融亜鉛めっきよりも塩害に強いことから日本各地の沿岸地域で採用され始めています。その中には、防災製品のひとつである崖上からの落石によっての事故を防ぐ柵状の製品があります。通常は山間部に良く見られるもので溶融亜鉛めっき仕様が殆どですが、海と山が近い個所ではこの製品も塩害の影響を受けることから「タナカ-AZ」の採用に至りました。その設置後写真を紹介します。海まで10数メートルの沿岸部で、写真の背後は崖になっています。かなり海に近い所ですが、柵の向こうに見える道路を走行する車や人に対し長い期間落石から守り続けることが期待できます。

